

石田町生まれ

彦岐商業高校出身

●彦岐市農業協同組合

やまぐち ゆうき

山口 優希

幼少期から空手をはじめ、学生時代はバレーボールに打ち込む。
高校卒業後は、諫早市にある長崎県立農業大学校に進学し、寮生活を送りながら、野菜について学ぶ充実した2年間を過ごす。
2020年、JA彦岐市に就職し今年で4年目。農産園芸課で活躍中!!

24才



山口さんの職場紹介



《住 所》

JA営農センター
彦岐市芦辺町国分東触681

《業 務》 ※本所や支所の業務を含む
指導事業、販売事業、購買事業、
信用事業、共済事業など...

★彦岐で輝く若者通信第11号★

お仕事の魅力おしえて!

出張があるので、
他の地域の指導員さんと
交流することも!

人と話すことが
好きな人大歓迎!

担当の農家さんに
「信頼して任せられる」
と言ってもらえると
嬉しい!!

農協検定などの
資格をとることも
できる!

農産園芸課
営農指導や販売を担当

お仕事 大公開!!

<営農指導>

作物の状態を確認
しながら肥料の紹介
や害虫対策などを
農家へ提案

<販売>

出荷の量や単価を
もとに市場の担当者
と交渉・調整のうえ、
農産物を販売

～とある一日(いちごの出荷がある時)～

8:00 10:00 12:00 13:00 17:00

出勤 検査 出荷 事務処理 現場指導 農家① 現場指導 農家② 現場指導 農家③ 事務処理 退勤



担当はいちごとメロン。
農作物の状態をみて農家さんに
提案をする姿は、まるで「果物
のお医者さん」。
人とやりとりする機会が多いお
仕事であるため、山口さんは素
直に話を聞くこと・分からない
ことはすぐに調べ真摯に対応す
ることを心掛けている。
農家さんとの間に築かれた信頼
関係は、山口さんの日々の仕事
に対する姿勢の賜物であること
間違いなし!!

彦岐に戻ってきた わけは…?

「なんとなく帰ってきたつもりでしたが、今思えば彦岐が好きだったからだと思います。少しでも地元の人になれたらいいな!」と語る山口さん。
「彦岐に戻れば畜産農家である実家の手伝いをすることもできますからね!」と家族思いな一面も。彦岐の魅力が自然と山口さんを動かし、今では、地元野菜の成長を陰ながら支える頼もしすぎる存在に!

こっそり教えちゃう

どうしてこの仕事を選んだの!?



「学生の頃は企業説明会等を通して、いろんな分野に目を向けていました。最終的に農協に就職することを決めたのは、農業が好きだったからだと思います。」とのこと。
進路に悩んでいた時に参加した農大のオープンスクールにおいて、実習や寮生活、面白い先生に魅了され農大進学を決意。
農大での楽しく充実した経験は、地元に戻り、好きな農業分野でお仕事をすることを決意する後押しになった。

ちょっと!質問コーナー

Q プライベートは

土日は、畜産農家である実家を手伝ったりします。地元の友達と遊んだり飲みに行くことも!!
いちごのシーズン時は、出荷の作業にでることもあります。
※きちんと手当が付きまますのでご安心を(笑)



Q 彦岐の魅力は?

彦岐独特のゆっくりとした時間の流れが好き。島時間っていうんですかね?
そして、彦岐は人も魅力。本当にいい人ばかりなんですよ。



Q 長崎県立農業大学校って何?

園芸学科(野菜・花き・果樹)と畜産学科から成る2年制の学校です。
実技では一から野菜を作る経験もできます。同じ目標を持った仲間がいるので、充実した楽しい生活を送ることができました。!
まずは、オープンスクールに参加してみてください!農大の魅力が詰まっているはず!

Q 今後の目標は?

担当である「いちご」と「メロン」のスペシャリストになることです。いつ何を聞かれてもバツと答えられるようにになりたいですね。

Q 後輩への メッセージをどうぞ!

どんなことでもいいので目標をもって、全力で打ち込んでください。
私が学生時代に全力投球したのはバレーボールでした。その時に培った体力や忍耐力は、今では仕事の糧になっています。
そして、進路が決まっていなくても焦らず、色々な分野に目を向けてみてください。自分が好きなことに出会えるかも…!?

発行元

若者定着促進会議

清水(彦岐振興局地域づくり推進課)

【問い合わせ先(事務局)】

TEL: 0920-47-4396

FAX: 0920-47-4809

MAIL: sl3015★pref.nagasaki.lg.jp
(彦岐振興局地域づくり推進課)

秘



農大時代にお世話になった農家さん